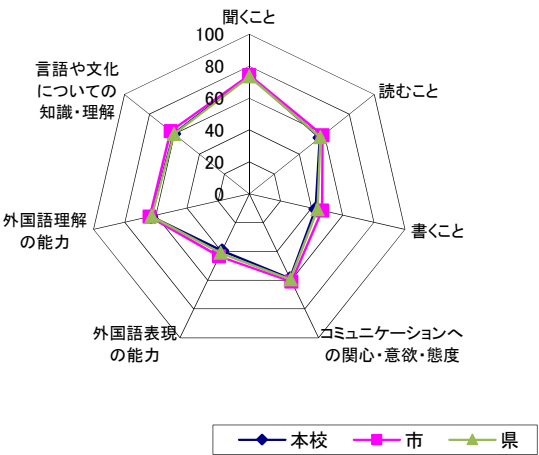


宇都宮市立豊郷中学校 第2学年【英語】分類・区分別正答率

★本年度の県、市と本校の状況

分類	区分	本年度		
		本校	市	県
領域等	聞くこと	74.3	74.4	73.5
	読むこと	56.5	58.7	56.9
	書くこと	42.6	46.8	43.9
観点	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	58.7	61.0	59.4
	外国語表現の能力	39.4	43.5	41.1
	外国語理解の能力	63.2	64.0	62.8
	言語や文化についての知識・理解	60.3	62.9	60.2



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
聞くこと	○平均正答率は74.3%と県の平均を0.8ポイント上回っており、内容理解で成長が見られた。 対話文の聞き取りが出来ていた。 ●英文の要点を聞き取ることと、対話の内容を聞き取り、その上で資料をもとに答える問題に苦手意識が見られた。	・楽しみながら英語学習ができるように、生徒の興味を引く歌などを通してリスニング力の向上を図る。 ・ウォームアップで生徒と簡単な英会話をする、スモールトークをすることで生徒たち自身の発音を良くするとともに対話力、リスニング能力も伸びるように取り組む。 ・資料をもとに事実を述べる能力を身につけることと、それに対する意見を述べられるように即興性もスモールトークで身につけさせる。
読むこと	○英文の情報・条件をもとに解く選択問題や、代名詞が指す内容を把握する問題の正答率が比較的高かった。 ●平均正答率は56.5%と県の平均を0.4ポイント下回っており、長文の読解になると正答率がかなり落ちる。 対話の流れと資料・条件をもとに適切な登場人物の発言を選ぶ問題の正答率が著しく低いため、英文を読んで理解する力が低いと感じられる。また、電子メールの内容把握問題の正答率も低かった。	・英文の概要をまずは理解できるよう、教科書の本文読解をする時に、キーワードの見つけ方や段落ごとの読み方も生徒に考えさせて深い理解を図る。 ・電子メール形式の英文に生徒が見慣れていないため、タブレット端末も利用し、この形式にも慣れさせていく。
書くこと	○自由度の高い、自分の出身を説明する英作文の正答率が他の問題に比べると高かった。 単語を並び替えて英文を作る問題の正答率は、県の平均を上回っていた。 ●平均正答率は42.6%と県の平均を1.3ポイント下回っている。対話文の流れにあった英文を書く問題の正答率がとても低くなっている。	・授業内での言語運用活動の終わりに、自分のことについて書かせる時間を設ける他、練習問題を解いて英文を自信を持って書けるようにしていく。 ・ライティングを活用したアクティビティを通して、楽しく書く力を伸ばせるように取り組む。